松山市障がい者総合支援協議会の部会の再編等について

1 背景

本市では、これまで障がい者総合支援協議会の下部組織に相談支援部会、こども支援部会、就労支援部会を設置して課題解決に向けた議論を行ってきたが、ここ数年は、部会等の活動状況に差が生じており、議論も障がい者計画、障がい福祉計画等についての内容に留まっており、課題設定や部会の意義について再考する必要があった。

そんな中、国でも協議会の役割等について法の改正が行われ、協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域課題を共有し、その課題を踏まえて地域のサービス基盤を整備していく役割があることから協議会を通じた「地域づくり」において「個から地域へ」の取組みが重要であることが明確化された。

そこで本市でも、個別ケースから地域課題を把握するための仕組みを構築するとともに、近年多様化、複雑化する障がいのある方が抱える問題に対応できるよう部会の再編を行うことにした。

2 地域課題提出シートの作成

（詳細は、別添資料のとおり）

3 部会の再編（案）

再編後	再編前
（1）相談支援部会 （2）くらし部会 （3）権利擁護部会 （4）地域生活支援拠点等検討部会 （5）こども支援部会 （6）就労支援部会 （部会を6つに再編）	（1）相談支援部会 （2）こども支援部会 （3）就労支援部会

※より専門的な構成員で多様化、複雑化する課題に対応

※松山市障がい者総合支援協議会連絡調整会規程の改正

4 効果

(1)地域課題の抽出⇒検討⇒地域支援体制の整備

(2)地域ネットワークの構築

(3)専門的な部会の活発な議論⇒より効率的な課題解決につなげる